

平成16年7月13日(火)

本日の授業

— 1990年代以降の大学・大学生 —

溝上 慎一 (高等教育研究開発推進センター助教授)

1. はじめに

- ・説明の修正
- ・綿矢りさ『蹴りたい背中』

・教育3回生・男性

肝心要の最後の部分、新人類文化の問題の所がよく分かりませんでした。対抗すべき文化の喪失、表現の発露の矛先の喪失、辺りがキーワードなのかな、とも思いましたが…。

「ちょっと距離を取る」が裏目に出たのはどうして?

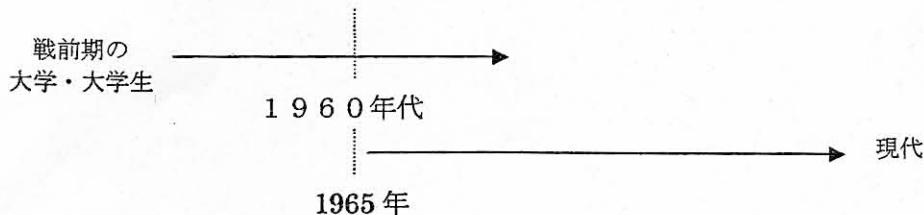
- ・個人の状況を全体に当てはめることについて

法則定立的アプローチ (nomothetic approach) …反復・普遍・法則
個性記述的アプローチ (idiographic approach) …一回性、個性記述

2. 本日の授業:

(1)「1960年代」から「1970・1980年代」への移行

- ・前文脈の力



- ・背後で静かに進行する1970年代へと移行する力

連帯感・共同性



アバシー・無気力

- ・小谷敏 (1993) <資料1>

- ・生活世界の変容・人生トラックは強固に固定化

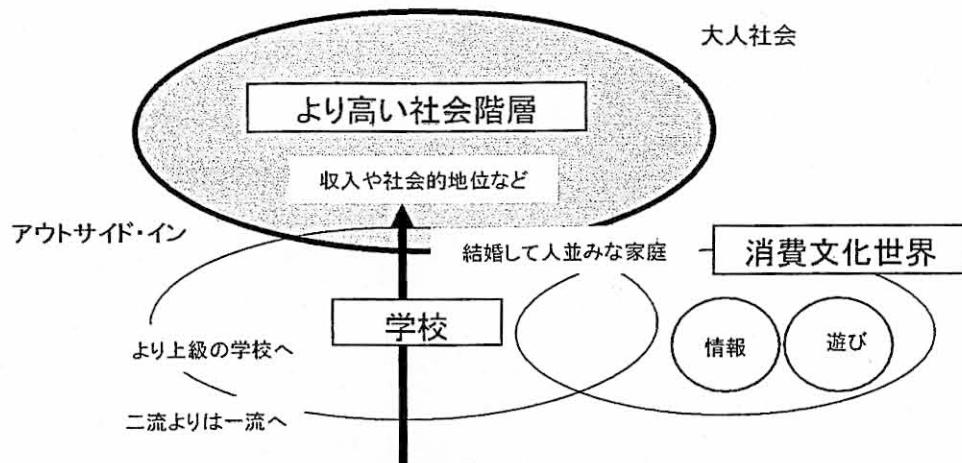


図1 1980年代に典型的に見られた青年の人生形成の仕方

表1 久富(1993) 学歴競争の変遷

時代区分	戦後	1960年代	1970-80年代	現代
	戦後~1950年代	1960年代~1970年代前半	1970年代後半~1980年代	1990年代~現在
大学・短大進学率	10%	10~38%	35~38%	37~49%
久富(1993)による競争区分	抑制された競争	開かれた競争	閉じられた競争	--

(2) 現代(1990年代以降)

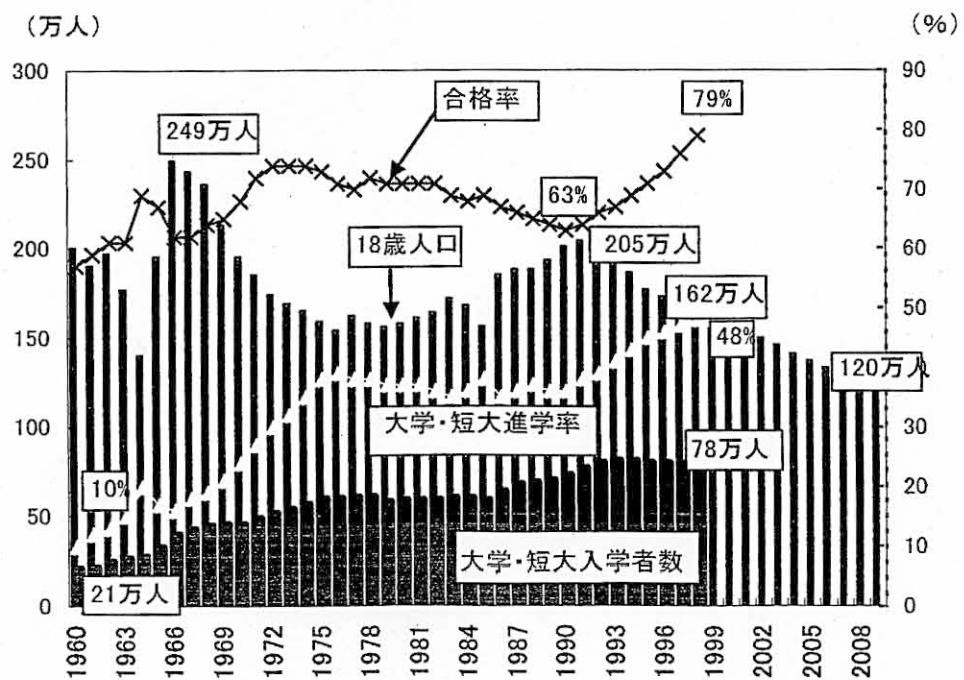


図2 高等教育の規模などの推移

(注) 文部省編『我が国の文教施策～未来を拓く学術研究（平成9年度）』、『我が国の文教施策～心と体の健康とスポーツ（平成10年度）』より作成。

- ・高等教育政策の大きな転換：
 - 社会の高度化、複雑化、国際化、情報化
国民生活の多様化、新しいニーズに対応した人材の必要性
社会人教育、生涯教育の必要性
 - 進む少子化 2009年120万人体制
 - 「量」から「質」へ 大学設置基準の改訂（1991年）

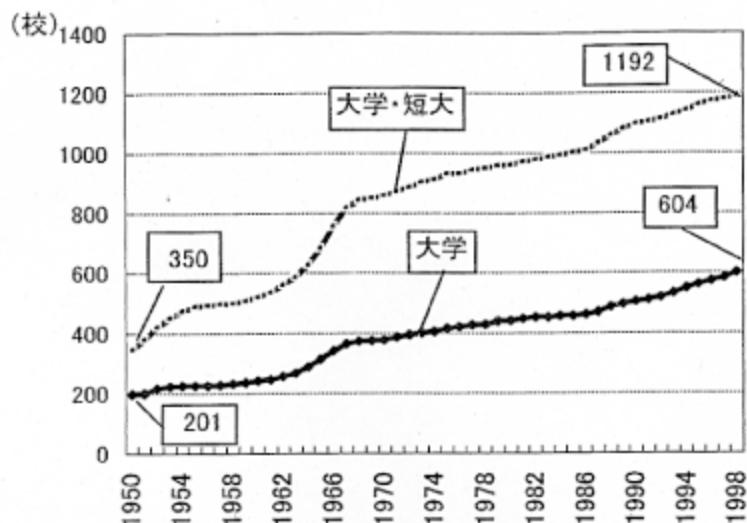


図3 大学・短大数の推移（1950～1998年）

(注) 文部省大臣官房調査統計企画課『文部統計要覧（平成11年版）』より作成。

- ・バブル経済の崩壊（1991年3月）
 - 就職率60%台の時代へ 「就職氷河期」
 - 一流大企業の経営破綻
山一証券の自主廃業（1997年） 米ワシントンポスト「さらば日本株式会社」
北海道拓殖銀行、日產生命保険も経営破綻
 - 横並びの生き方崩壊 <資料2>

- ・インサイド・アウトの生き方ダイナミックス
- ・「居場所」という言葉の出現（1980年代中ば頃から）

理学部3回生・女性

大プレートと小プレートの話をききながら思ったのですが、現代は、いったん小プレートどうしが出会って、合うなと思ったときに、また大プレートを形成しているのではないか、と思います。

かつてはすべての人が同じ大プレートに乗っていたけれども、今はいくつかのプレートがあって、そこに複数の人が乗っていたのだと思います。

個性を求めながらも、一人じやさみしいから、逆にそれだけ強く連帯を求めていくようにも考えられます。

はじめに趣味、クラブ・サークル、ファッショニ注目するのは同じプレートに乗るかどうかを確かめているのだと思います。

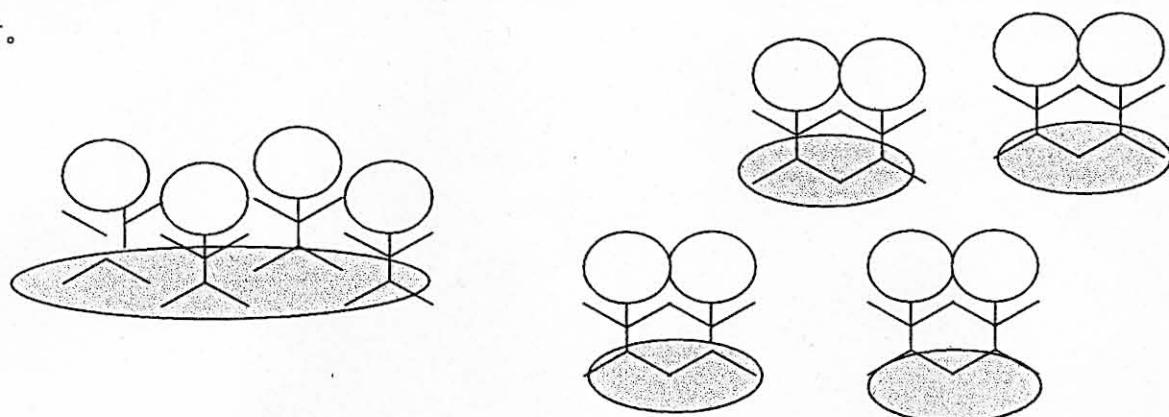
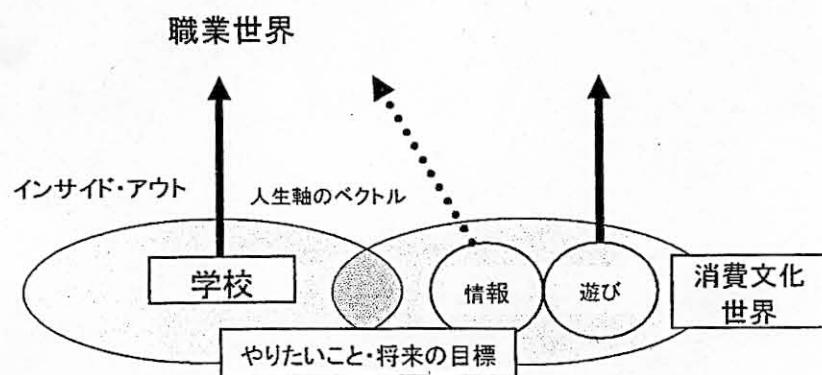


図 大プレート（左）・小プレート（右）における人間関係



3. 試験について

○実施日：7月20日（火）4限目 14:45～16:05 (80分)

○問題：記述形式

大問2問（西山伸先生1問＊溝上1問）

○持ち込み：すべて可（テキスト、プリント、ノートなど）

*ただし、ノートのコピーは不可。「不正行為」とみなします。

4. 参考文献

- 小谷敏（編） 1993 若者論を読む. 世界思想社.
久富善之 1993 競争の教育ーなぜ受験競争はかくも激化するのかー. 労働旬報社.
溝上慎一 2004 現代大学生論—ユニバーシティ・ブルーの風に揺れる—. NHK ブックス.

<資料1> 小谷敏（編） 1993 若者論を読む. 世界思想社.

<資料2> 「横並びの生き方崩壊」（『日本経済新聞』2003年8月26日）